

商業洗濯用消臭薬剤 デオシリーズ

1. 商業洗濯のニオイ問題

商業洗濯業者が病院の入院患者や老人介護施設などの入所者を対象に、私物衣類の洗濯サービスを始め、日本の少子高齢化といった社会的背景から、その市場は拡大傾向にあります。一般的に商業洗濯では、60℃以上の温度でアルカリ性洗剤や漂白剤などを用いて処理しますが、多様な衣類が想定される私物洗濯においては、衣類の素材や色のトラブルを抑えるために洗濯条件を弱くし、中性洗剤を用いて洗濯されています。このため、洗濯後のニオイの問題がたびたび指摘されていました。一方で、ニオイの原因物質を97%除去しても、ニオイの感覚は半分程度しか減らないという報告もあります。実際の洗濯現場においても、汚れは除去できていてもニオイが残っているという事例があります。

2. ニオイ問題を解決するデオシリーズ

業務用洗剤メーカーのゲンブと業務用脱臭剤メーカーの第一クリーンケミカルが2014年に合併しました。ニオイを専門に取り扱う部隊は当社の強みです。ニオイの複雑な問題を解決するために、消臭に幅広い技術とノウハウを持つクリーンケミカル研究グループと、洗濯の技術を持つ洗濯研究グループが共同にて研究実験を行い、デオシリーズを開発しました。デオシリーズは消臭剤を加えることによって、洗濯では除去できないニオイやマイルドな洗濯条件下でもニオイが残らないことを主なコンセプトとしています。消臭剤は、中高年以降で問題となる加齢臭に焦点を当て、その成分のひとつであるノネナールに着目して選定しています。消臭の仕組みにおいては、マスキング法とは異なる「臭気中和（相殺）法」を用い、ニオイの組み合わせによって、臭気強度と不快度を下げてニオイを感じにくくする方法を採っています。この方法は、クリーンケミカル研究グループが培った中心的な技術です。

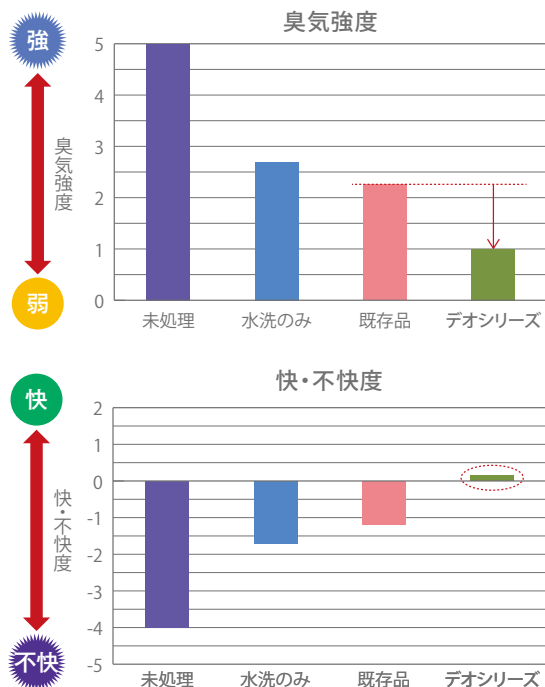
繊維に付着したニオイの主な原因はノネナールなど油脂の酸化物以外に、汗に含まれる乳酸などの分解物と言われており、それには細菌などが関係しています。この細菌に対しては過酢酸が効果的とされ、幅広

い微生物に対して除菌効果を発揮します。

デオシリーズの粉末洗剤品は水溶解にて容易に過酢酸が発生することから、洗浄と除菌の効果が一剤で得られる作業性にも優れた製品です。

病院や介護施設に限らず、商業洗濯市場全体として、消臭や衛生に関する意識の高まりは今後も続くものと思われます。これらをキーワードにした製品を市場に提供し、清潔で快適な暮らしに貢献していきます。

■ デオシリーズを用いたノネナール消臭試験結果



西 貴弘 にしたかひろ

ゲンブ株式会社
営業部 東日本販売グループ
ゲンブケミカルチーム

お問い合わせ
✉ nishitak@dks-web.co.jp
☎ 03-3275-0566